

(仮称) 国際センター駅北地区複合施設基本設計業務委託に係る公募型プロポーザル審査委員会
各審査委員からのメッセージ

■青木 淳 委員長

「中心部震災メモリアル拠点」のための空間に比べて、「音楽ホール」のための空間がかなり大きい計画です。しかし私たちが期待しているのは、単なる「中心部震災メモリアル拠点機能が付加された音楽ホール」の提案ではなく、「音楽ホール」と「中心部震災メモリアル拠点」の2つの機能が、内容的には同じくらいのウェイトで、かつ必然的に融合した、先例のない新しいタイプの施設・環境の提案です。その融合のあり方の内容やイメージは、基本構想や基本計画などには明確には書かれてはいないでしょう。しかし応募者のみなさんには、それらを踏まえた上、ぜひ、発展的にそれらの枠組みを越えた提案をしていただきたいと思っています。その融合のあり方の内容やイメージを今後、一緒に構築していくパートナーとしての設計者に会えることを期待しています。

ところでこのプロジェクトのように、諸機能が複雑に絡み合う計画では、その内部構成を美しく解くことは重要です。しかし、敷地の特性、求められている構成から必然的にかなりの大きさのヴォリュームにならざるをえないこの建築では、だからこそ、その建ち方がそれにもまして重要な課題になります。しかも、音響的に閉じた大きなホール空間を擁するため、閉鎖的な「箱」的建築になりがちであるという懸念点があるため、とくに、都心部からの眺望が、自然環境を背景としてどのような景観として眺望されることになるか、私たちは大きな関心を持っています。また、内と外にまたがった敷地全体にわたる環境の計画も重要なポイントでしょう。ホワイエからどのような景色を楽しむことができるのか、ホール内での音楽鑑賞や観劇の時間だけでなく、音楽や演劇に訪れるアプローチから終演後の帰路までの、この建築をめぐる一続きの体験はどのようなものになるのかなど、ここを体験する人々の視点からの優れた計画を期待しています。

各方面の専門家とやりとりしながら多面的に進めることになる当プロジェクトでは、高いコミュニケーション能力とフレキシビリティが求められるわけですが、そのなかでも上に挙げたような諸課題に呼応した提案内容を維持しつつ、建築をまとめあげるだけの技術力を期待しています。

■岩間 友希 委員

「音楽ホール」と「中心部震災メモリアル拠点」は、仙台市民の長年の期待に応える非常に重要なプロジェクトです。私は日ごろの立ち位置からも、建物が完成した後にはいかに継続的に交流が生み出されるか、現場側の視点を大切にしています。そのため本公募においても、2つの異なる要素が空間設計によってどのように調和し相互に補完し合うか、また海外や震災を知らない世代を含む多様な背景を持つ人たちが日常的に足を運び、交流し、創造的な取り組みが広がる仕掛けのある提案かを重視します。協働の最初の1歩は、空間が持つ機能や面白さに惹かれて多様な人たちが出会い、「心が震えるコンサートだったね」と余韻を楽しみ合う瞬間や、「そういえば避難所で聴いた音楽が忘れられなくてさ」といった会話から自然に生まれていきます。災害を過去のものにせず、音楽の力が仙台のこれまでとこれからをそっと届けるような、心に響く提案を楽しみにしております。

■富永 祥子 委員

仙台は、市民の音楽文化レベルが高く、かつ仙台フィルハーモニー管弦楽団のホームタウンでもあることから、プロとアマの両軸で幅広い音楽活動を繰り広げられている全国でも珍しい街といえます。

公共ホールの場合、市民利用を前提とした多目的ホール・プロ利用が中心の専用ホールというように、主な利用者によってホールの性質がわけられがちです。しかし、プロ・アマが地続きで活動するこの街であれば、今までにない新しい使い方の可能性が開かれるのではないのでしょうか。使い手の平均レベルが高い仙台だからこそ、専門性と汎用性、表舞台と裏方がシームレスに入れ替わるような、そんな施設ができるのではないかと、個人的に夢が膨らみます。

この施設の大きなテーマは「音楽」と「震災」です。一見不思議に思えるこの組み合わせを、どのようなハード・ソフトで具現化するのか。仙台の持つポテンシャルを最大限発揮する、アグレッシブな提案を期待しています。

■西沢 立衛 委員

「(仮称) 国際センター駅北地区複合施設基本設計業務委託に係る公募型プロポーザル」では、その中心的機能として「音楽ホール」と「中心部震災メモリアル拠点」という二つの機能の提案が求められています。この二つはどちらも、これからの仙台の、または東北の、また日本の未来を描くものであると素晴らしいと考えます。また同時にこの二つはどちらも、仙台の歴史と深くつながったものでもあります。その意味で、街の歴史、文化、風土と連続し、自然と調和した、仙台にふさわしい建築が提案されることを期待しています。また敷地は、仙台の歴史の中でもたいへん重要な場所に位置しています。建築の中に諸機能がうまくおさまることだけが目標なのではなく、建築の外にも、この地域にふさわしい、またこの機能にふさわしい、豊かな都市空間が提案されることを期待しています。